エコアクション21
認証番号0011317

Environmental
Management
Report

環境経営レポート

2023年度【第34期】
対象期間：2022年12月1日～2023年11月30日

株式会社エコ・クリエイト

作成日：2024年2月1日
改定日：2024年4月18日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
認証・登録の対象組織・活動	3
事業の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
許可の内容	5
廃棄物処理フロー	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	8
環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13

□ごあいさつ

『未来の地球環境を創造する』

これが我が社の理念であります。
美しい自然があることで、人の心は豊かになります。人の心が豊かになれば、必ずそこには幸せが訪れます。幸せになれる環境を少しでもお手伝いし、お役に立ちたい。廃棄物から新しい価値を生むエネルギー事業に携わり、地球環境の役に立ちたいと考えています。

環境経営方針

【環境経営理念】
わたしたちエコ・クリエイトは、
誠実で透明な環境経営で、お客様と社会の信頼に応えます。
社会が必要とする質の高い環境関連事業を実行することで、
自然環境を守り、生活環境を守り、環境経営を継続的に発展させます。

【環境保全への行動指針】

1. 環境経営理念を意識し、会社も社員も成長していきます。
【環境経営理念の尊重】
2. 廃棄物関係及び環境関連の法令を遵守し、お客様が安心して任せられる仕事をします。【法遵守の約束】
3. 整理、整頓、清掃を習慣化し、エネルギーや資源を大切に使い、環境への負荷軽減に努めます。【省エネ、省資源】
4. 地域での環境関連活動へ積極的に参加します。【社会貢献活動】
5. 本環境経営方針を維持し、継続・発展させるため、環境経営目標を設定し、社員全員で学習(PDCA)しながら活動し続けます。
【環境経営目標管理の実施】
6. 社員が健康を維持できる業務体制を構築し、適宜見直しを行います。
【働き方改革】
7. 会社全体で必要な資格を、希望する全員が獲得できるよう支援します。【スキルアップの支援】

制定日:2015年12月01日
改定日:2023年02月28日
代表取締役社長　坪江　紀幸

□組織の概要

名称及び代表者名
株式会社 エコ・クリエイト
代表取締役　坪江　紀幸

所在地
本　　社　岡山県岡山市北区今二丁目19番10号 TEL:090-3630-5090
岡山東事業所　岡山縣岡山市東区上道北方452番地　TEL:070-3772-5090

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者渉外部長　恩藤　光
担当者総務部　　安木　眞里

事業内容
産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬

事業の規模
法人設立　1988年12月18日
資本金　　300万円
売上高　　28,751万円（2022年12月1日～2023年11月30日）
従業員数　本 社　2名　　岡山東事業所　10名
延べ床面積 本 社　24㎡　岡山東事業所　67.39㎡
敷地面積　2,426.0㎡（2023年11月30日現在）

受託した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬 3,128.52t

事業の用に供する車両

車種	台数	備　　考
キャブオーバ車	2台	ユニック車、パワーゲート車
大型ウイング車	1台	
冷蔵冷凍車	2台	
バ　ン	2台	2tロング、プロボックス
軽車両	1台	軽トラック
合　計	8台	

主要設備

名　称	台数	備　考
エンジン駆動フォークリフト	1台	
モーター駆動フォークリフト	2台	モーター駆動1台増
トラックスケール	1台	

積み替え保管施設

名　称	保管面積	積み上げることのできる高さ	保管上限
産業廃棄物積替保管施設	372㎡	1.5m	282㎥
特別管理産業廃棄物積替保管施設	233㎡	室内保管	150㎥
危険物屋外貯蔵所 (特別管理産業廃棄物積替保管施設)	9㎡	1 m	5 ㎥

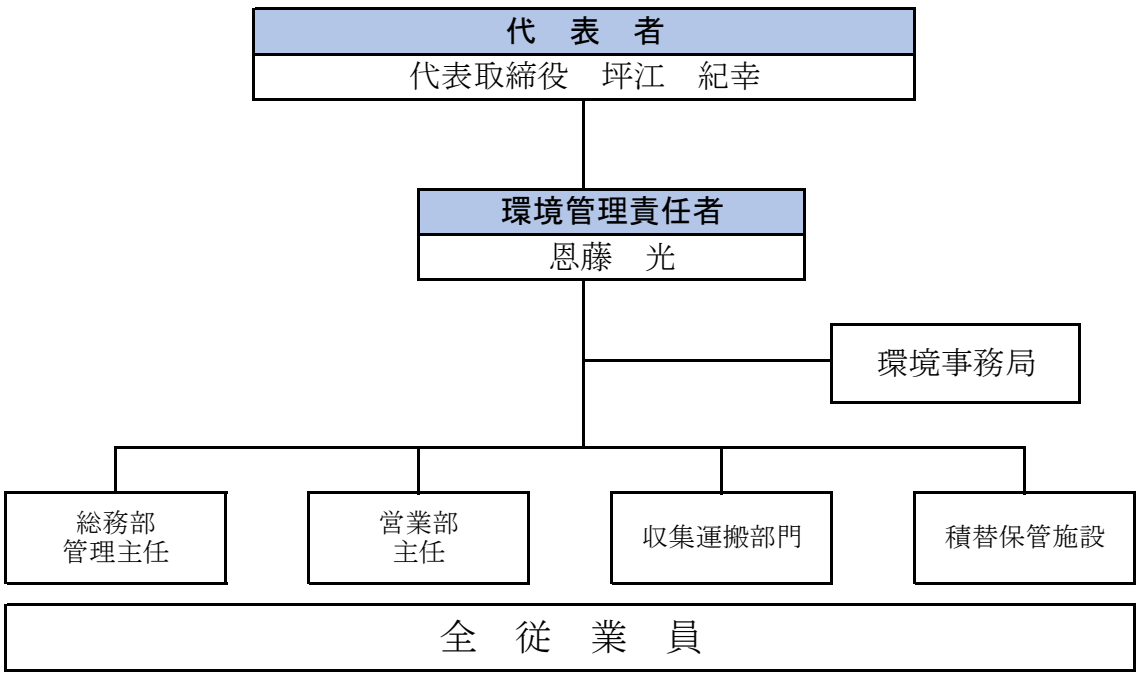
□ 認証・登録の対象組織・活動(全組織・全活動)

登録組織名：株式会社 エコ・クリエイト
対象事業所：本社
　　岡山東事業所
活　動：　産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬

□ 事業の紹介

病院その他の医療機関から排出される「医療系産業廃棄物」と建設系産業廃棄物、微量ＰＣＢ汚染物や研究機関からの強酸・強アルカリ・試薬・レントゲンフィルム等を収集運搬し、焼却や無害化処理を行う中間処理業者に処分を委託しております。

□ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人,設備,費用,時間等経営資源を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の制定 ・実施体制の構築(環境管理責任者の任命を含む) ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境委員会の事務局 ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営目標及び環境経営計画の作成
部　門　長	・環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営目標に向けた取組実施 ・環境関連法規等遵守の取組 ・緊急事態対応試行訓練の実施・記録
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

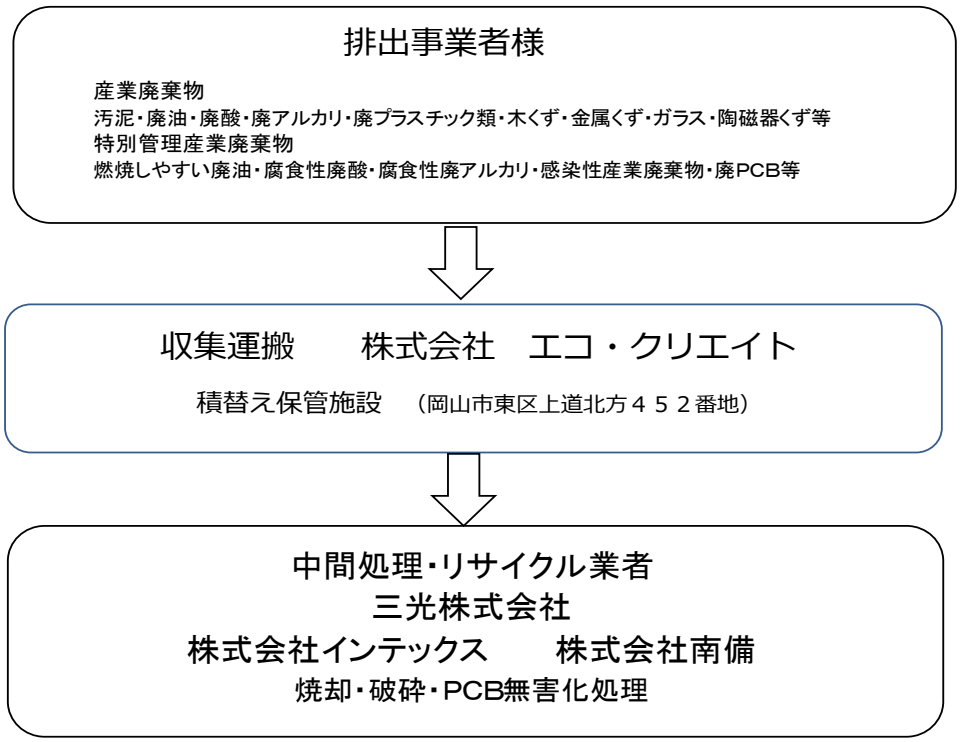
□ 許可の内容

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業	許可期限	許可品目															
許可地域 許可番号	許可年月日 許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラ陶	鉱さい	がれき類	ばいじん
岡山県 03301004226	令和2年1月29日 令和7年1月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山市 08310004226	令和2年2月6日 令和7年1月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥取県 03104004226	令和2年3月29日 令和7年3月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県 03400004226	令和3年7月8日 令和8年7月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県 02803004226	令和元年10月28日 令和6年10月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
島根県 03200004226	令和3年７月29日 令和8年7月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業	許可期限	許可品目										
許可地域 許可番号	許可年月日 許可期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産廃	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	燃え殻	汚泥	ばいじん	廃石綿等
岡山県 3351004226	令和５年7月7日 令和12年6月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山市 08360004226	令和6年2月2日 令和12年12月25日	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
鳥取県 03154004226	令和５年7月1日 令和12年6月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県 03450004226	令和3年7月8日 令和8年7月7日	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
兵庫県 08253004226	令和元年10月28日 令和6年10月27日	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
島根県 03250004226	令和3年7月29日 令和8年7月28日	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

□ 廃棄物処理フロー



□ 受託した産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の処理量

・収集運搬量(2023年)

廃　棄　物　の　種　類					
普通産廃	単位	収集運搬量	特別管理産業廃棄物	単位	収集運搬量
混廃(廃プラ+金属くず)	t	82.83	引火性廃油	t	30.0
汚泥	t	80.06	廃酸(強酸)	t	6.3
廃油	t	237.92	廃アルカリ(強アルカリ)	t	0.2
廃酸	t	1.83	感染性産業廃棄物	t	1,422.3
廃アルカリ	t	8.54	廃ＰＣＢ等	t	7.4
廃プラスチック類	t	443.36	ＰＣＢ汚染物	t	0.0
木くず	t	20.30	ＰＣＢ処理物	t	0.0
金属くず	t	496.25	ばいじん	t	0.0
がれき類	t	57.67	有害廃油	t	0.0
ガラス・陶磁器・コンクリートくず	t	212.58	廃石綿等	t	21.0
小計	t	1,641.3		t	1,487.2

□ 主な環境負荷の実績

項　　目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	45,900	91,855	104,332
受託収集運搬量	トン	4,684	4,954	3,129
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	81	82	82
産業廃棄物排出量	kg	340	340	0
水使用量	m^3	55.0	89.0	82.0

※ 電力の二酸化炭素総排出係数（調整後）
中国電力(株)の調整後排出係数(2018年度実績)　0.636kg-CO_2/kWhを使用。

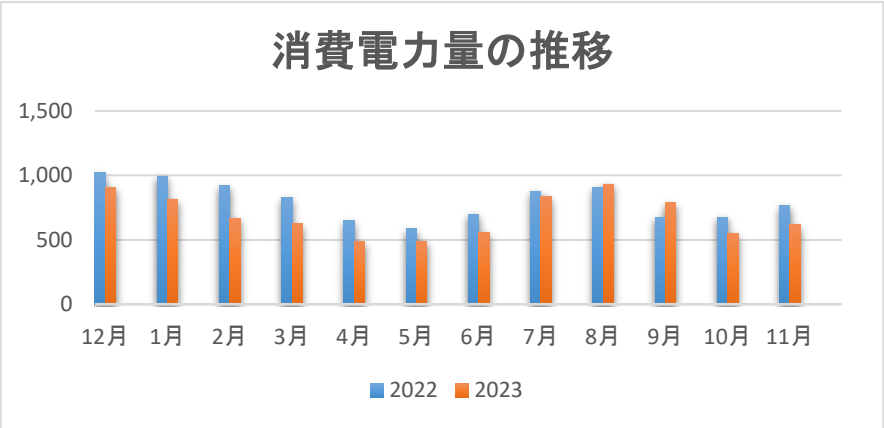
□ 環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		2022年度	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO_2	6,107	6,046	5,258	○	5,985	5,924
	基準年度比		99%	86%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン、軽油)	kg-CO_2	85,300	84,447	98,532	×	83,594	82,741
	基準年度比		99%	116%		98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	82	81	82	×	80	80
	基準年度比		99%	100%		98%	97%
水使用量の削減	m^3	89.0	88.1	82.0	○	87.2	86.3
	基準年度比		99%	92%		98%	97%
社会貢献活動	行動目標(数値目標なし) ・SDGs17の目標の内で当社が実施可能な目標への取組 ・地域が実施する環境活動への積極的参加 ・周辺地域の清掃						

□ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：〇達成、×未達成
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力消費量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	照明不要時の消灯を徹底した。 事務所を退去する時の消灯に責任者を決めて、消灯と確認を徹底した。 昼休み時間に事務所内を12時30分から午後1時まで消灯することに努めた。 エアコンなどで部屋全体を暖めることを止め、テーブル下の足元に小さい温風ヒーターを入れて、電力消費の節減を図った。
・空調温度の適正化	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・ノー残業デーの実施	〇	
・照明のLED化	◎	



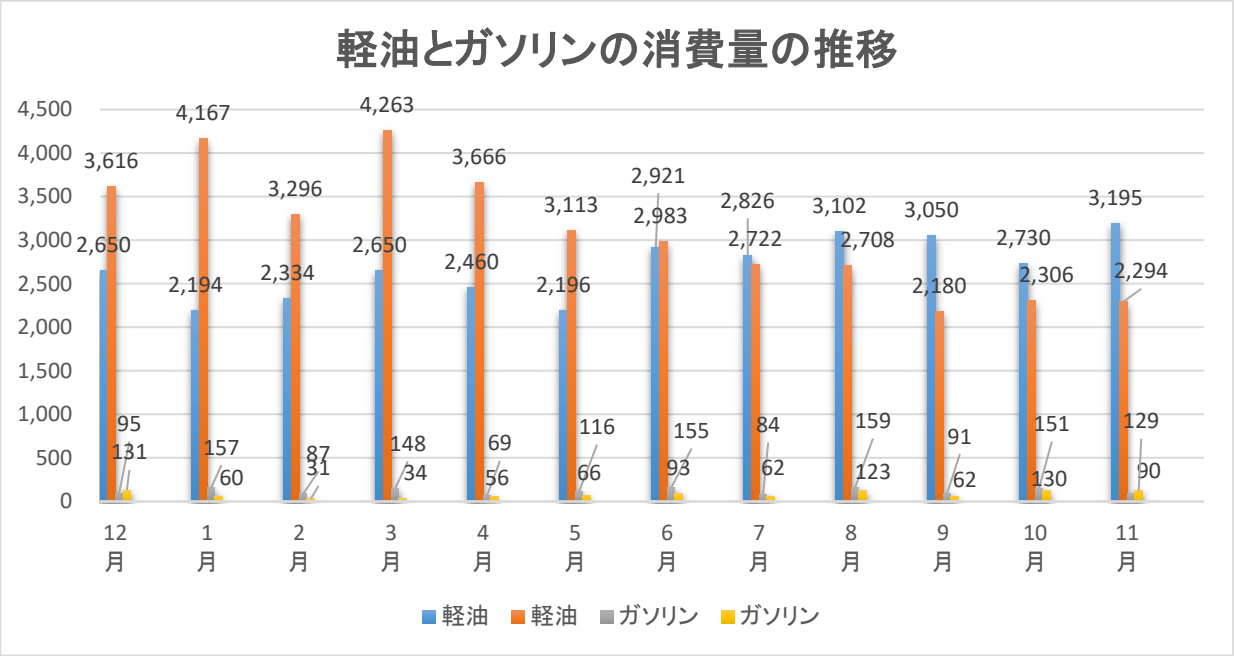
次年度の取組内容
今期の初めに事務所屋上に太陽光パネルを設置した。次年度は、自社使用の電力の相当部分を賄えることを期待して、更なる削減目標の設定を検討する。それ以外、従来の取組みを継続する。

年度	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	累計
2022	1,020	991	918	831	650	587	699	878	907	676	677	768	9,602
2023	909	813	668	623	485	488	560	838	931	789	548	616	8,268

自動車燃料の使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標（ガソリン＋軽油）	×	軽トラとプロボックスで分担しており、ガソリン消費量は微弱に止まってている。 大型のウイング車がフル稼働し、軽油消費量は増えたが、外注量が減っている。
・アイドリングストップ	〇	エコドライブの重要さを理解して、燃料節減に努めている。
・効率的なルートで配送	〇	坪江・谷岡両主任が絶えずルートの見直しを行っている。
・エリア別営業活動の見直し	△	Eco事業部の集配が営業活動と兼務できないか検討中である。
次年度の取組内容		
電気自動車や水素自動車が実用化する迄、軽油やガソリンに頼らざるを得ない。 エコドライブの励行にも、限度がある。 人件費や燃料費の高騰をお客様にご理解頂いて、何とか黒字が維持できるよう運搬費の値上げをお願いして行く。		

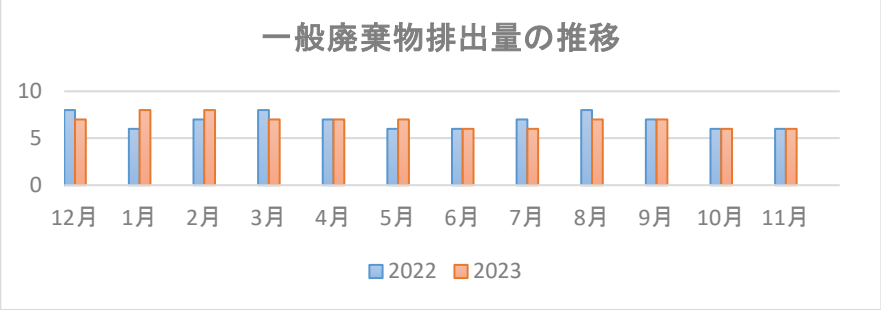
軽油とガソリンの消費量の推移

	年度	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	累計
軽油	2022	2,650	2,194	2,334	2,650	2,460	2,196	2,921	2,826	3,102	3,050	2,730	3,195	32,308
	2023	3,616	4,167	3,296	4,263	3,666	3,113	2,983	2,722	2,708	2,180	2,306	2,294	37,312
ガソリン	2022	95	157	87	148	69	116	155	84	159	91	151	90	1,402
	2023	131	60	31	34	56	66	93	62	123	62	130	129	977



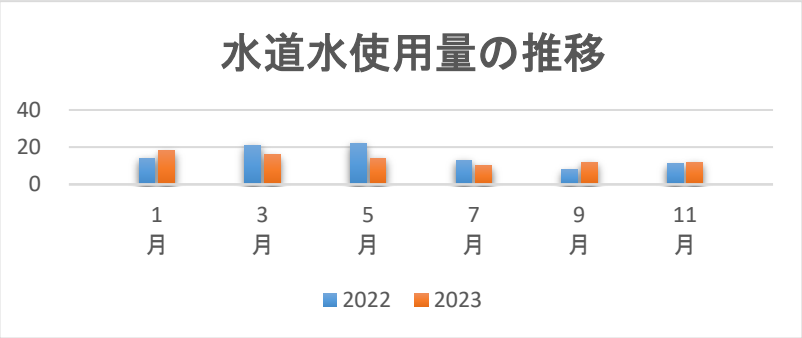
取組紹介欄
大型ウイング車が増えたので、軽油の消費量が相当増えるかと心配していたが、2022年度と2023年度とでは他車も含めた累計で、15.4%増えただけであった。売り上げが7.4%上がったのと、数百万円に上る外注費が節約できたことを思えば、良しとしなければなるまい。

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	前年度から始めた、屋外保管場所の塀に沿って設置した段ボール4個などの再生利用物置場が有効に機能し、再生業者に引き取られている(無償譲渡)。弁当を買う時は廃容器包装が残らないものを買うよう努める。止むを得ず残す時は自宅に持ち帰る。次年度もこの取り組みを継続して行く。
・分別の徹底	○	
・ごみの排出抑制	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・裏紙利用の促進	○	



年度	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	累計
2022	8	6	7	8	7	6	6	7	8	7	6	6	82
2023	7	8	8	7	7	7	6	6	7	7	6	6	82

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	節水弁は付けている。 効率的な洗車の方法を検討している。 農作物や植木への水遣りには河川水を利用している。 節水を促すビラは貼付している。 次年度も同様の取り組みを継続する。
・節水弁の取付	○	
・効率的な洗車の検討	○	
・水遣りへの河川水利用	○	
・節水の啓発	○	



年度	1月	3月	5月	7月	9月	11月	累計
2022	14	21	22	13	8	11	89
2023	18	16	14	10	12	12	82

社会貢献活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・SDGs17の目標の内で当社が実施可能な目標への取組	○	今年度は、SDGs17 の目標の内２番目（飢餓をゼロに）と12 番目（持続可能な消費と生産パターンの確保）に関係するテーマに挑戦します。食品ロスを減らすために「買い過ぎない」、「使い切る」、「食べ切る」を心がけた。
・地域が実施する環境活動への積極的参加	○	・事務所前の水路及び道路の清掃を実施した。
・周辺地域の清掃	○	

□ 環境関連法規制等の遵守状況の確証及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業、産業廃棄物の処分委託
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	解体工事業者に登録制度を設け、再生資源の有効利用と廃棄物の適正管理を図る
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し、３ヶ月毎に第一種特定製品の簡易点検の実施、記録の保管
ＰＣＢ特措法	PCB廃棄物の適正な運搬、期限内の処分
消防法	届け出を要する危険物の指定
危険物の規制に関する政令	危険物の指定数量
岡山市火災予防規則	指定数量未満の可燃物の取扱い
自動車NOx･PM法	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の排出量の抑制
計量法	定期検査
道路交通法	交通ルールの遵守
道路運送車両法	自動車の登録、日常点検・定期点検の実施
労働安全衛生法	労働者の安全と健康を確保 安全衛生管理体制の確立

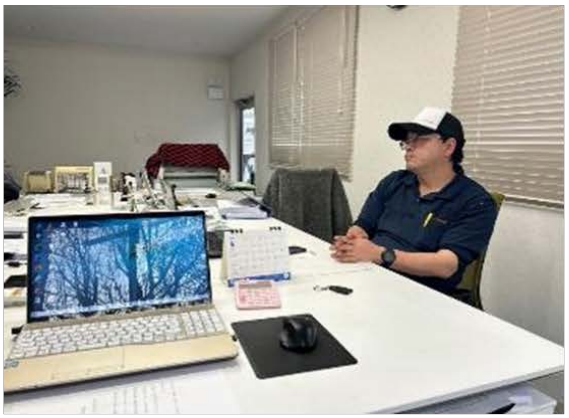
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。関係当局より違反等の指摘もありませんでした。

避難訓練、消火器の期限確認、油分流出防止訓練

訓練実施日：2023年3月4日

訓練開始前の打合せ



T主任待機中

事務所避難後の点呼

図面を見ながら消火器の位置を確認、各機20m以

排水溝からの油分・汚水流出防止に土嚢袋を設置

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

アルコール検知器の供給不足により、2022年10月から実施される予定だったアルコールチェックの義務化が2023年12月1日から実施されました。企業はアルコールチェッカーを準備し、運転前後 のタイミングで確認しなければならなくなりました。当社もシステムを導入して、法規制に対応しております。また、近年厳しく取り締まられることとなっている、「横断歩道における歩行者等の優先」についても、（一財）全日本交通安全協会発行の「道路交通法の改正ポイント」というテキストを教材として、令和４年以降に改正された道路交通法についてEAミーティングの中で従業員の周知を図っております。

令和５年は、当社が許可を受けている特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の期限が更新を受けねばならぬ自治体に対して、優良認定の申請をお願いして参りました。現在は令和５年７月に鳥取県、と岡山県。令和６年２月に岡山市から、更新許可証に優良マークを頂いております。次々とやってくる産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬業許可更新の全てに、優良申請をお願いし、同業他社との差別化を図ってゆくつもりです。

事業内容ですが、2021年の売上高が267,660千円、2022年は287,508千円と、およそ7.4%伸びております。軽油とガソリンの値上げが高止まりする中、良く健闘していると考えております。

運送業は何処とも従業員の去就に悩まされていますが、当社も昨年12月と今年1月に1名づつ退職し、新たに募集を掛けております。

昨年から【環境保全への行動指針】に加えた、・社員が健康を維持できる業務体制を構築し、適宜見直しを行います。と、・会社全体で必要な資格を、希望する全員が獲得できるよう支援します。という行動指針を武器として、事業の発展に邁進して参りたいと存知ます。

2023年12月18日

株式会社エコ・クリエイト　代表取締役　坪江　紀幸

環境経営方針	☑変更なし	□変更有り
環境経営目標・環境経営計画	□変更なし	☑変更有り
（燃料消費量を売上高で除した数値を見て、適切な目標値を策定する。）		
実施体制	□変更なし	☑変更有り
（新たに入社する従業員の資質を見て判断する。）		